

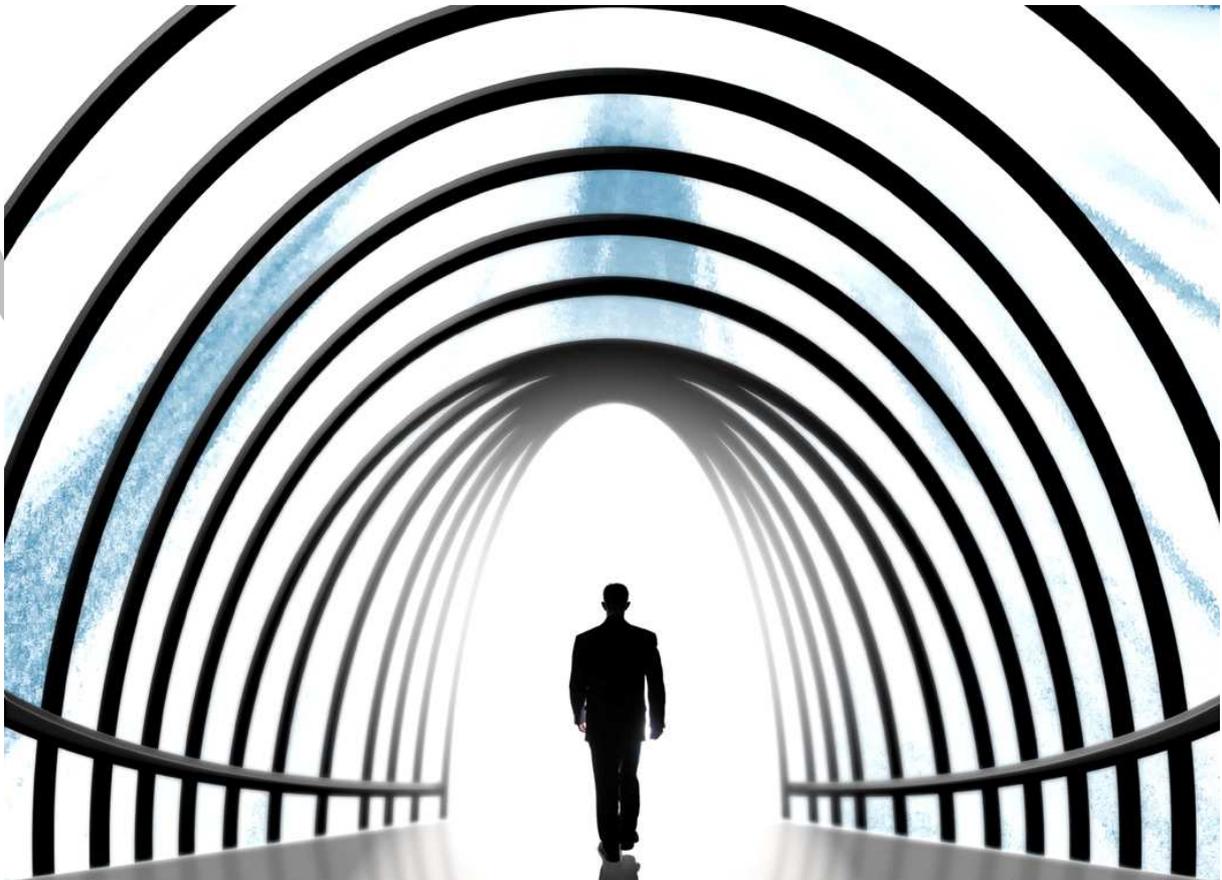
会社の『力』をPOWER UP!!

企業の成長を応援します!!

さがみはら
企業力
支援事業

SICさがみはら産業創造センターでは、新たな事業分野や開発を進め新分野へ進出しようとする企業の各種課題について業界動向・専門的な知見を有する外部専門家やSICスタッフが共同して企業の成長をサポートします。

相模原市 中小企業新分野等進出ガイドブック



平成23年6月
株式会社さがみはら産業創造センター

本ガイドブックの概要と『さがみはら企業力支援事業』について

さがみはら産業創造センターでは、『さがみはら企業力支援事業』を実施し、新たな事業分野や開発を進め新分野へ進出しようとする企業の各種課題について業界動向・専門的な知見を有する外部専門家やSICスタッフが共同して企業の成長をサポートしています。本ガイドブックでは、この事業を活用し、会社の『力』をPOWER UP!!している企業を紹介しています。

『さがみはら企業力支援事業』概要

対象業種

相模原市内法人「ものづくり企業」
(製造業または情報通信業)

対象事業者

新規性・独創性を持ち、
高い成長力を期待出来る事業に
積極的に取り組んでいる企業

支援内容

企業の課題に応じて、アドバイザー等が複数回(6回程度/年を目安としています)企業を訪問し、課題解決の支援を行います。(必要に応じ、メンターや専門家がサポートします)

<支援メンター・アドバイザーのご紹介>

SICメンター(企業経営経験者)



㈱産創コラボレーション
小林 守 氏

(日立製作所出身、元日立コンピュータテクノロジー&エンジニアリング代表取締役社長)
電子・電機・エネルギー



㈱アイ・ビー・アソシエイツ
佐藤 康夫 氏

(元日本エア・リキード 代表取締役社長)
産業・医療用ガス、化学



㈱カイゼン・マイスター
小森 治 氏

(トヨタ自動車出身、元セントラル自動車
代表取締役社長)
運送機器、生産管理

SICアドバイザー



㈱ウィルパートナーズ
黒須 香織 氏

(メーカ出身・中小企業診断士)
事業計画策定・マーケティング・環境関係等



古賀 知恵 氏

(メーカ出身・ビジネスコンサルタント)
人材育成・海外展開・自動車関係等



ストラテック㈱
宇崎 勝 氏

(メーカ出身)
技術経営コンサルティング・事業計画策定等



㈱コンサルート
湯淺 孝司 氏

(メーカ出身・中小企業診断士)
販路開拓・経営革新作成支援

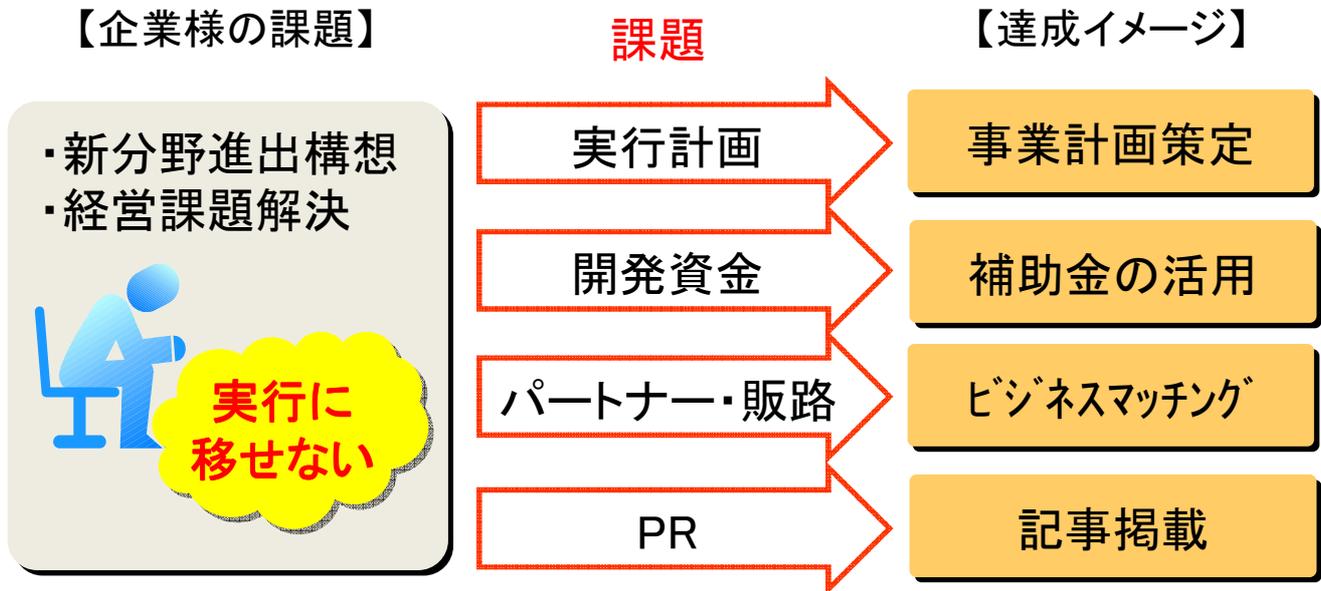
※他にも専門家(公認会計士)やSICスタッフ(インキュベーションマネージャー)がサポートします。

<募集について>

例年7月頃より公募を開始し、年間10社程度の支援を予定しています。
その他の詳細につきましては、SICさがみはら産業創造センター
(www.sic-sagamihara.jp)のホームページをご覧ください。

『さがみはら企業力支援事業』の事業スキーム

アドバイザーが複数回に渡り、地域企業様を訪問して、新分野進出や経営課題解決のためのパワーアップをサポートします



企業力支援事業

【計画策定支援】

ターゲット・ビジネスモデル・事業承継計画等を一緒に検討します

【開発資金支援】

補助金情報提供・申請書作成支援などワンストップで支援します

【パートナー・販路支援】

市内他の企業ネットワークやマッチングイベントを活用します

【PR支援】

新聞や各種情報誌への記事掲載などをコーディネートします

その他の実施項目

【見ミニセミナー・経営総合相談会】：企業【力】のヒントとなるセミナーを年2回開催します。セミナー終了後は、公的支援機関がワンストップで相談会を実施します。

『さがみはら企業力支援事業』の支援企業及び活用事例紹介

恭誉建設（株） 土木建築業から環境分野への進出

＜会社概要＞URL：http://www.dojyogenkikun.com/
 創業：1970年（昭和45年）
 所在地：相模原市中央区陽光台4-5-11 電話：042-758-1131
 代表者：山下 美加 資本金：1,000万円 従業員：10名
 事業内容：土木建築業、土壌改良剤・水質汚濁浄化剤の開発製造



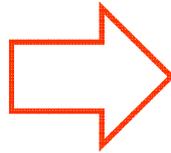
代表取締役：山下 美加氏

【事業の概要】

当社は40年に渡り、大手ゼネコンの下請けで土木建築業を営む。

業界が先行き不透明な中で、六価クロムが除去できる土壌改良剤「土壌元気君」(経営革新認定)・

水質汚濁浄化剤を4年前より開発し、環境分野への進出を模索していた。



【代表者コメント】

弊社だけでは既存の販売チャンネルに依存せざるを得なかった状況でしたが、具体的なアドバイスを頂き、新製品にふさわしいビジネスモデル・計画を策定出来たのは、今後の展開にとって有効でした。採択された国土交通省の補助金も活用し、環境事業の更なる発展を目指していきます。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 販売計画の策定 : ターゲット、販売数量、ビジネスモデルの検討
- ・ 新聞への記事掲載 : 新規引き合い数の増加につながる
- ・ 新分野補助金の活用 : 補助金情報提供、申請書作成支援→採択

関連施策のご案内： 相模原市中小企業研究開発補助金

相模原市では、市内中小企業者の新製品・新技術開発や新分野進出を支援するため、研究開発に要する経費の一部補助しています。

【対象となる方】

市内に事業所を有し、単独又は共同で新技術・新製品開発等の研究開発を行っている中小企業者

【補助率及び補助金額】

○補助率 研究開発に要する経費の2分の1以内とします。

○補助金額 年間200万円が上限

ただし、産学連携枠や行政課題対応枠による研究開発テーマについては、上限が300万円になります。

【補助期間】 単年度

【申込期間】 平成23年度6月15日(水)～7月15日(金)※例年は4月に募集開始

【選考方法】 相模原市中小企業研究開発補助金審査会にて審査を行います。

【問い合わせ先】 相模原市環境経済局経済部産業・雇用政策課 TEL042-799-9253

NDKエンジニアリング（株）

新規事業展開で産学連携活用

<会社概要>URL：http://www.ndkeg.com/

創業：1980年（昭和55年）

所在地：相模原市緑区根小屋1733番7 電話：042-711-6770

代表者：代表取締役 柳沼 良和 資本金：1,000万円 従業員：9名

事業内容：高周波焼入れ加工及びプラズマ熱加工ならびにその関連装置製造販売他

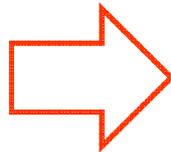


代表取締役：柳沼 良和氏

【事業の概要】

当社は、自動車業界等に高周波焼入れ等の誘導加熱による表面処理装置を開発・製造している。

新事業展開として、誘導加熱技術を活用して蒸気発生装置を開発し、竹炭や竹酢液のような抽出液などを試作していた。同社にとって未経験の市場であり、商品特性の評価が難しい状況にあった。



【代表者コメント】

弊社にとって全くわからない業界への進出でしたが、大学を紹介してもらったことで、委託試験で竹炭の製品評価が出来て事業方向性を定めることができました。

また、これをきっかけにして関連する人脈も出来て、新規事業を展開する流れが強まりました。

今後は誘導加熱による制御装置で、今までは困難であった高温域での液の抽出に貢献することを目指します

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・産学連携コーディネーター：大学事務局経由で情報収集し、研究者とマッチング
- ・産学連携スタート事業の：補助金情報提供していただく研究で活用

関連施策のご紹介： 相模原市産学連携スタート支援事業

市内中小企業者が大学等との産学連携による研究開発や技術開発を促進するため、共同研究等に必要な費用の一部を補助します。中小企業が自ら大学等（大学・高等専門学校・職業能力開発総合大学校）と行う新技術・新製品開発、既存技術の高度化に関する研究テーマによる①共同研究②委託研究③試験・分析・技術指導が対象です。

【対象となる方】

市内で1年以上継続して事業を営み、補助対象事業を市内の事業所で行っている中小企業者

【補助率及び補助金額】

○補助率 共同研究等に要する経費の2分の1以内

ただし、市内の大学等と共同研究等を行う場合の補助率は3分の2以内

○補助金額 上限25万円

【補助期間】平成23年4月以降に開始し、平成23年度内に大学等との協同研究・受託研究契約に基づき、大学等に支払う経費が対象となります。

【申込期間】平成23年度5月2日（月）～7月29日（金）

【その他】受付は先着順で予算額に達した段階で終了します。

【問い合わせ先】相模原市環境経済局経済部産業・雇用政策課 TEL042-799-9253

(株) 相模樹脂工業

新商品開発・新聞掲載・企業間マッチング

<会社概要>URL : <http://www.sagami14.co.jp/index.html>
 創業 : 1965年(昭和40年)
 所在地 : 相模原市南区麻溝台8-5-9 電話 : 042-744-1458
 代表者 : 代表取締役社長 妻沼 和光 資本金 : 1,000万円 従業員 : 27名
 事業内容 : プラスチック真空成形全般



代表取締役社長: 妻沼 和光氏

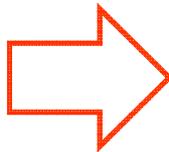
【事業の概要】

当社は、プラスチックのトレイやパックを企画・試作・製造している。トレイ製造において、コストと納期を大幅に削減する可変型金型の開発、および得意のプラスチック加工技術を活かした自社製品の開発を検討していた。



【代表者コメント】

従来は企業の要望に対応するビジネスを行ってききましたが、今回、本支援により、マーケティング的なアプローチに取り組むことができました。新商品の魅力をブラッシュアップし、新市場開拓を見据えた販売戦略を立てることができ、今後に向けて積極的に事業を推し進める土台を構築できました。



企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ **新商品開発** : マーケティング手法による商品価値の向上
- ・ **新聞掲載** : 企業紹介での掲載による認知度の向上
- ・ **企業間マッチング** : 連携できる企業や取引先などの抽出・仲介

関連施策のご紹介 : トライアル発注認定制度

優れた新製品の生産により新たな事業分野の開拓を図る市内中小企業者を「新製品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者」(新事業分野開拓者)として認定し、その新製品の販路開拓を支援し、地域経済の振興を図るとともに、その一部を市が試験的に購入し、評価する制度です。

【支援内容】

認定された新製品に対して、次のような販路開拓支援を行います。①広報さがみはらや市ホームページでのPR ②市が作成する認定製品のカタログへの掲載 ③展示会への認定製品の出展

【対象となる方】

市内に事業所を有し、かつ市民税を完納している中小企業者、NPO法人等が生産する製品で、市の定める要件を満たしている製品が対象となります。(詳細は、募集要領を参照ください)

【補助期間】 認定された日より2年後の年度末までとなります。

【申込期間】 平成23年4月15日(金)~5月31日(火)

【選考方法】 相模原市の審査会における審議を経て認定します。

【問い合わせ先】 相模原市環境経済局経済部産業・雇用政策課 TEL042-799-9253

(株) コンタクト **ビジネスマッチング**

<会社概要>URL : <http://www.e-contact.co.jp>
 創業 : 2003年(平成15年)
 所在地 : 相模原市中央区上溝2259-3 電話 : 042-777-0299
 代表者 : 代表取締役社長 田島 敏行 資本金 : 1,000万円 従業員 : 22名
 事業内容 : 半導体ウェハー容器の全自動洗浄装置、各種生産設備機械他の製造・販売



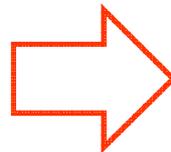
代表取締役社長：田島 敏行氏

【事業の概要】

当社は、自動化技術や洗浄技術をコアにした、半導体ウェハー容器の自動洗浄装置のトップメーカーである。



半導体業界は、シリコンサイクルと言われる景気の変動が大きく、事業ポートフォリオの観点で新事業展開を検討していた。

**【代表者コメント】**

メンター、アドバイザーに來社いただき戦略策定プロセスの手法などを紹介を受けたことで、弊社の洗浄技術を活かした他分野展開を検討することができました。
 イベントや個別のマッチングは、他企業の情報及び新分野での情報取得ができ、新しいビジネスパートナーを増やすきっかけとなりました。今後は、二次電池やスマートグリッドなど新規技術分野に洗浄技術や基礎技術を活用していく所存です。

企業力支援事業**【活用のポイント】**

- ・ 戦略立案支援 : 策定プロセス、調査分析方法、技術棚卸し手法紹介
- ・ マッチングイベント : 「KSP協創マッチングフォーラム」の参加推薦、プレゼン資料添削
- ・ 企業間マッチングの実施 : 連携相手や取引先などの仲介・面談立会

関連施策のご紹介： 南西フォーラム：産産マッチング会

南西フォーラム(首都圏南西地域産業活性化フォーラム)は、地域における企業・大学・支援機関・行政機関などが一堂に集い、中小企業の皆様の新技术・新製品開発や新分野への進出などにつながる新たな連携を生み出すための交流の場として、平成16年6月より開催しています。この南西フォーラムの主催により、大手・中堅企業と地域企業のマッチング会を実施しております。この会を積極的に活用して独自のネットワークを築き、新たなビジネスパートナーや様々なビジネスチャンスを獲得していただくことを期待しています。

【対象となる方】

経営者や研究者の皆様をはじめ、ものづくりに携わる方や新たな出会いを求めている方など、フォーラムにはどなたでもご自由にご参加可能です。マッチング会は、応募者多数の場合は、抽選となります。

【開催時期】 平成23年度は12月頃を予定しています。

【申込期間】 平成23年度は10月頃を予定しています。

※産学マッチング会も別途開催を予定しています。

【問い合わせ先】 (株)さがみはら産業創造センター TEL042-770-9119

アート電子（株） ▶ 販売アプローチの見直し・展示会出展

<会社概要>URL : <http://www.arti.jp>
 創業：1984年（昭和59年）
 所在地：相模原市中央区清新8-1-5 電話：042-758-5221
 代表者：代表取締役 元木 久一 資本金：1,000万円 従業員：4名
 事業内容：半導体電子部品の販売、電子応用機器の開発・製造・販売



代表取締役：元木 久一氏

【事業の概要】
 当社は、以前より
 新規事業として
 ナノバブル発生装置の
 開発に取り組んできた。



しかし、導入事例が期待ほど増加せず、「何をすべきか？」を考えて、対策を打つことが必要となっていた。

【代表者コメント】
 弊社単独ではお会いできないような業界関係者と面談でき、今までの販売戦略・戦術の反省点に気付きました。それを活かして、データや資料の提示の仕方をアドバイザーと一緒に考えて、勧めてもらった展示会へ出展したところ、有力なお客様と知り合うことができました。現在、案件が進み始めていますが、次に何をすべきかという方向性を持って取り組んでいます。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 販売アプローチ見直し：説得力あるテストデータの重要性を再確認
- ・ 展示会出展支援：各種展示会で検証テストの足がかりを掴んだ

（有）アキモト印刷 ▶ 新製品開発・新聞掲載・カイゼン支援

<会社概要><http://akimoto-insatsu.com/>
 創業：1935年（昭和10年）
 所在地：相模原市緑区三ヶ木401 電話：042-784-0567
 代表者：代表取締役 秋本 敏明 資本金：500万円 従業員：5名
 事業内容：各種印刷物企画製作、オリジナル商品の企画販売



代表取締役：秋本 敏明 氏

【事業の概要】
 当社は、印刷業とオリジナル商品の企画販売を行っている地域密着型企業である。
 印刷媒体の電子化に伴い、業務の効率化、オリジナル商品の売上向上策を検討していた。



【代表者コメント】
 今までは商品を開発しても大きな販売に結びつきませんでしたが、本支援で、マーケティング視点での商品開発、売り方のヒントを得ました。また工場内のカイゼンも進み、効率がアップしました。何よりも全社員の意識が高揚し、社内の結束力が強まりました。今後も社員全員で地道に取り組んでいきます。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 新聞への記事掲載：新規引き合い数の増加につながる企業PR
- ・ 新商品開発：マーケティング手法による商品価値の向上
- ・ カイゼン活動支援：印刷・加工工場のカイゼン活動推進による業績アップ

(株) オーシーエスアクタ

販売戦略の検討・マーケティングリサーチ

<会社概要>URL : <http://www.ocsagt.co.jp/>
 創業 : 2006年(平成18年)
 所在地 : 相模原市南区南台5-2-9-108 電話 : 042-703-9315
 代表者 : 代表取締役 西川 幸延 資本金 : 500万円 従業員 : 1名
 事業内容 : 保冷保温庫の企画・開発・設計・製造販売



代表取締役: 西川 幸延氏

【事業の概要】

当社は、ペルチェモジュールを使った保冷・保温庫を企画・設計・製造・販売している。取引企業が少なかったため、経営安定を目指し、取引先の拡大、および新分野進出を検討していた。



【代表者コメント】

今までは市場のニーズを吸い上げるパイプがありませんでしたが、本事業で、新分野の企業様への声をヒアリングできたことで、新しい発見がたくさんありました。今後は、収集した真のニーズを元に、新分野にマッチした商品改良をすすめ、販路開拓を行いたいと思います。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 販売戦略 : 商品特性の整理、および進出分野の抽出
- ・ マーケティングリサーチ : 新分野でのサンプル試用、およびニーズ調査

(有) サーフクリーン

新製品開発・販売戦略の検討

<会社概要> <http://www.surfclean.co.jp/>
 設立 : 2005年(平成17年)1月
 所在地 : 相模原市緑区西橋本5-4-30 第2さがみはら産業創造センター101
 電話 : 042-770-9751 FAX : 042-770-9424
 代表者 : 加藤聖隆 資本金 : 300万円 従業員 : 4名
 事業内容 : プリント基板向プラズマ処理請負(表面改質、メッキ前処理、レーザー加工後処理)



担当・営業部: 小林 道夫氏

【事業の概要】

競合先が少なく、独自性の高いプリント基板向けプラズマ処理請負サービスを展開。
【本支援事業へ応募した背景】
 プラズマ処理の国内需要は減少傾向。プラズマ処理技術と装置を活かし新たな事業を創出したい。⇒音質で従来品を凌駕する楽器用シールドケーブルを製品化できないか？



【担当者コメント】

この支援事業に応募する前から温めていた楽器用シールドケーブルの構想だったが、試作して評価をしてみたところ、製品化の手応えと自信を感じ、前へ大きく踏み出すことができた。支援事業期間中は各方面の専門家からのアドバイスを受けながら試作と性能評価、そして製品化に向けた課題の抽出と対応策の検討を進めることができた。課題は幾つか残っているが、今後はモニター販売を開始し、愛好者を着実に増やしながら事業化していきたい。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 新製品開発支援 : 差別化要因の技術的裏付け、試作評価プロセス構築
- ・ 販売戦略の検討支援 : 対象顧客の明確化、製品の差別性の見せ方検討
- ・ 他社との連携可能性検討支援 : 都産業交流展への出展(於: 東京ビックサイト)

(株) 菅原モデル

企業理念と事業方向性の策定

<会社概要> URL : <http://www.sugawamodel.co.jp/index.html>
 創業 : 1984年(昭和59年)2月
 所在地 : 相模原市中央区田名3156-4 電話 : 042-762-6675
 代表者 : 代表取締役 菅原正弘 資本金 : 1000万円 従業員 : 9名
 事業内容 : 製品開発段階での試作品製造



代表取締役: 菅原 正弘氏

【事業の概要】

当社は、通信装置他の製品開発段階における筐体や部品の試作品を製造している。



創業以来、毎日の仕事で多忙を極めており、企業理念や事業計画などを改めて検討する機会もなかった。

【代表者コメント】

最初はアドバイザーが企業理念のひな型を提示してくれるのかと思っていましたが、自分の言葉で企業理念を策定する手助けに留めてくれました。自分の頭を絞ることで、自社を俯瞰し理論づけする良い訓練となりました。「世間一般の視点で自社を見てこなかった」という大きな気づきを得ることができました。企業理念などを未検討の会社さんにお勧めします。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 企業理念策定 : アドバイザーとの対話により、今までの足跡を踏まえて明文化
- ・ 戦略方向性策定 : 顧客と商流を分析し、方向性と中長期的に考慮すべき課題を抽出

八千代梱包工業(有)

企業理念策定・商機拡大・事業計画策定

<会社概要> <http://www.yachiyokonpou.co.jp/>
 設立: 1972年(昭和47年)10月
 所在地: 相模原市中央区東淵野辺1-18-25 電話: 042-753-0108 FAX: 042-753-1063
 代表者: 三嵯正雄 資本金: 300万円 従業員: 6名
 事業内容: 梱包(木箱、強化段ボール等)、倉庫保管(出入荷、在庫管理、流通)、資材販売、運送取次、物流業務全般



代表取締役: 三嵯 正雄氏(右)
 三嵯 祐一郎氏(左)

【事業の概要】 八千代梱包工業株式会社

各種梱包、また顧客から預かった商品の入庫や在庫管理、運送取次に至るまで、物流に関わる一貫したサービスを展開。

【本支援事業へ応募した背景】

物流・倉庫業界の低迷が続く厳しい経営環境の中、業績を伸ばしたいが、何から手を付けるべきか迷っている。

外部の力を活用して、会社として今後どう進むべきか、どう業績を伸ばしていくべきかを考えたい。



【代表者コメント】

長い間日常業務に追われ、一度頭の整理をしたいと思い、本支援事業へ応募した。これまで何に支えられて会社が存続してきたのか、変わらず大切にしていけることは何かを見つめ直し、経営基軸とすべき理念が明確になった。新たなニーズを探り当てるためにはお客様の元に飛び込んで本音を聞き出すことが大切だと、実践して感じる事ができた。支援事業期間中に得た気づきを元に、お客様の隠れたニーズを掴みながら次の10年を考えていきたい。

企業力支援事業

【活用のポイント】

- ・ 企業理念策定支援 : 潜在的に抱いていた思いを抽出、整理して明文化
- ・ 商機拡大支援 : 顧客の潜在的なニーズや困りごとを引き出す方法の検討と実践
- ・ 事業計画策定支援 : 商機拡大活動を進めつつ、10年後にどうなっていきたいかを構想

相模原市関連の関連施策のご紹介

相模原市中小企業融資制度（相模原市）

市が一定の資金をあらかじめ金融機関に預け、それぞれの金融機関の独自の資金を併せて、市内の中小企業者の方々に融資するものです。したがって、比較的 low 利な融資が受けられますが、一般の融資と同様に返済能力があることが最低条件となります。

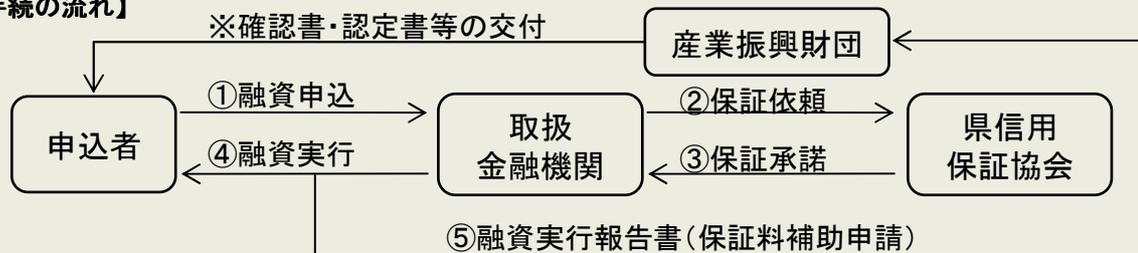
※融資制度の詳細は、パンフレット「中小企業融資制度のご案内」をご覧ください。
（相模原市産業振興財団及び取扱金融機関の窓口にあります）

【融資申込みの要件】

市内の中小企業者及び協同組合等で、次の要件すべてに該当することが必要です。

1. 中小企業信用保険法施行令第1条に規定する業種（神奈川県信用保証協会の保証対象外業種を除く）に属する事業を営んでいること
2. 市内で1年以上継続して同一事業を営んでいること
3. 市民税を完納していること
4. 行政庁の許認可等を必要とする事業を営む者については、その許認可等を得ていること

【申込手続の流れ】



国内見本市出展助成制度（相模原市産業振興財団）

財団法人相模原市産業振興財団では、市内中小企業の皆様が開発した製品の販路開拓を支援するため、見本市・展示会へ出展する際の出展料の一部を助成します。

【対象となる方】

市内で1年以上操業し、自らが開発した製品を見本市・展示会へ出展する中小企業者及び団体
（ただし、製造業または情報通信業を営む方に限ります）

【助成の内容】

- ・見本市・展示会への出展に際し、主催者へ払う出展料を助成します。
- ・助成額は、予算の範囲内で、出展料の2分の1以内（上限20万円）とします。
※対象が多いなどの場合、助成額が上限金額や出展料の2分の1に満たないことがあります。
- ・出展料以外の経費（運搬料、電気工事費、ブース装飾費等）は対象となりません。

【助成の対象事業】

- ・国内で、年度内に開催される見本市等であること
 - ・出展について他の自治体や公的機関から一切の補助・助成を受けていないこと
 - ・物産展など即売を目的とするものではないこと
- 以上3点に加え、原則として以下の条件を全て満たす見本市への出展とします。

- ・国または地方公共団体が主催、または後援する見本市等であること
- ・小間数が100以上の規模を有する見本市等であること

【申込期間】平成23年度は6月下旬からを予定しています。

※海外見本市出展助成制度も別途御座います。

【問合せ先】財団法人相模原市産業振興財団 TEL042-759-5600

国・神奈川県等の関連施策のご紹介

戦略的基盤技術高度化支援事業 (国)

重要産業分野の競争力を支えるものづくり基盤技術(鑄造、鍛造、切削加工、めっき等)の高度化に向けて、中小企業、ユーザー企業、研究機関等からなる共同研究体によって、川下産業のニーズを的確に反映した革新的かつハイリスクな研究開発や、生産プロセスのイノベーションを実現する研究開発を行う際、委託金をうけることができます。(計画認定と委託事業の2段階で申請を進めることとなります)

【対象となる方】

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」(中小ものづくり高度化法)において経済産業大臣が指定する特定ものづくり基盤技術の高度化に向けた研究開発に取り組む中小企業者で、中小ものづくり高度化法の認定を受けた方

【支援内容】

我が国経済を牽引していく製造業の国際競争力強化及び新産業の創出に不可欠なものづくり基盤技術の高度化に向けて、中小企業、ユーザー企業、研究機関等からなる共同研究体によって、実施される研究開発を支援します。

交付元: 経済産業局

委託金額: 4500万円以下/テーマ 研究期間: 2~3年

【事業実施プロセス】

- (1) 経済産業局に対し公募期間中に提案書を提出
- (2) 経済産業局において提案内容を審査し、採択先を決定
- (3) 経済産業局と契約後、研究開発を実施し、終了後、研究開発成果を報告(年度毎)
- (4) 経済産業局から委託費を受給(年度毎)

【問合せ先】 経済産業省 関東経済産業局 製造産業課 TEL048-600-0307

新連携対策支援事業 (国)

異分野の複数の中小企業者が、それぞれが持つ技術・ノウハウ等の「強み」を有効に組み合わせ、高付加価値の製品・サービスを創出する取組を支援します。

中小企業者の連携体構築を支援する「連携体構築支援事業」と連携体による事業化・市場化を支援する「事業化・市場化支援事業」の2つの支援策があります。

【対象となる方】

- (1) 事業化・市場化を目的とした、異分野の複数の中小企業者による連携を構築したい方(他に大企業、大学、研究機関、NPO、組合などを含んでもよい)
- (2) 2社以上の異分野の複数の中小企業で連携して新たな事業活動に取り組む方で、中小企業新事業活動促進法第11条の異分野連携新事業分野開拓計画の認定を受けた代表者

【支援内容】

《連携体構築支援事業》

連携体構築に資する規程の作成、コンサルタント等にかかる経費の補助を受けることができます。

補助金額: 上限500万円(下限100万円)

補助率: 2/3以内

《事業化・市場化支援事業》

異分野の複数の中小企業者が連携して行う事業に必要な経費(連携規程作成・新商品開発・マーケティング等)の補助を受けることができます。

補助金額: 1認定事業計画あたり上限2500万円(下限100万円) 技術開発を伴う場合は、上限3000万円

補助率: 2/3以内

【問合せ先】 経済産業省 中小企業庁 新事業促進課 TEL03-3501-1767

経営革新支援（国・神奈川県）

「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（以下「中小企業新事業活動促進法」といいます。）に基づき、中小企業者等が行う創意ある発展への取組に対し、経営革新計画の承認を行い、様々な支援施策を講じることで、経営革新の取組をお手伝いします。

中小企業や組合などの方は、所定の様式に従って「経営革新計画」を作成し、この計画について、法に基づく知事の承認を受けると、計画期間中、政府系金融機関による低利融資や信用保証・課税の特例など幅広い支援措置を利用することが可能となります。

なお、知事の承認は、各種支援措置を利用するための必要要件であり、それぞれの支援措置の実行を保証するものではありません（計画の申請と同時に、希望する支援機関において事前に相談を行ってください。）。

【対象となる方】

事業内容や経営目標を盛り込んだ経営革新計画を作成し、中小企業新事業活動促進法に基づいて都道府県または国の承認を受けた中小企業者、組合等 ※経営革新計画の承認には各種適用要件があります。

【支援内容】

※別途、利用を希望する支援策の実施機関による審査が必要となります。

- (1) 政府系金融機関による低利融資制度
- (2) 信用保証の特例
- (3) 設備投資減税
- (4) 特許関係料金減免制度
- (5) 販路開拓コーディネーター事業

【問合せ先】 神奈川県商工労働局産業部産業技術課工業振興グループ TEL045-210-5640
 かながわ中小企業成長支援ステーション（神奈川県産業技術センター内） TEL046-235-5620
 相模原商工会議所 TEL042-753-1315 城山商工会 TEL042-782-3338 津久井商工会
 TEL042-784-1744 相模湖商工会 TEL042-684-3347 藤野商工会 TEL042-687-2138

地域資源活用の推進（国）

地域資源を活用して新商品や新サービスを開発する中小企業者に対して、法的措置や予算措置、金融措置などより総合的な支援を展開します。

中小企業者が、地域資源を活用した新商品・新サービスの事業化を行う際、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（以下、「中小企業地域資源活用促進法」）に基づく支援の他、様々な支援を受けることができます。

■「中小企業地域資源活用促進法」について

この法律では、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、各地域の「強み」である地域資源（産地の技術、農林水産品、観光資源）を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発。市場化を総合的に支援します。

【対象となる方】

地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業等

【支援内容】

※個別の支援策ごとに支援機関の審査や確認が必要となる場合があります。

- (1) 地域資源活用売れる商品づくり支援事業：上限3000万円（補助率2／3）
- (2) マーケティング等の専門家によるサポート支援
- (3) 中小企業基盤整備機構が主催する商談会、アンテナショップ等に対する優先的な出展
- (4) 政府系金融機関による融資制度
- (5) 信用保証の特例
- (6) 食品流通構造改善促進機構による債務保証等
- (7) 中小企業投資育成株式会社法の特例
- (8) 課税の特例

【問合せ先】 経済産業省 中小企業庁 新事業促進課 TEL03-3501-1767

SICさがみはら産業創造センターの主な事業のご紹介

ラボ・オフィスの提供



■ Desk10

※レンタルオフィスタイプ

デスクフリー形式で共用のワークスペースやデジタル複合機等がご利用になれます。



■ SIC-2

入居対象：創業期を経て成長期にある企業・企業の研究開発部門・大学研究室等

50.2㎡(セミラボ26室・フィス24室)



■ SIC-1

入居対象：創業間もない企業

・新分野進出を目指す企業、専門家

17.3㎡～94.7㎡(ラボ7室・セミラボ14室・スモールオフィス26室)



■ SIC-3

入居対象：創業期を経て更なる事業拡大を目指す企業・独創的技術によりなる事業拡大を目指す企業・大学や企業間の連携を目指して共同開発を行うグループ

21.1㎡～84㎡(ラボ(サブラボ)14室・セミラボ7室・オフィス6室)

※2011年12月オープン予定

SIC経営塾・職場リーダー養成塾



対象：経営者または経営幹部

先端的な企業のケーススタディーを通じ、最新の経営理論を学ぶとともに、自社を客観的に見つめ直し、事業構想を再構築する場を提供します。

例年の開講期間：6月～翌年2月



SIC職場リーダー養成塾

対象：中小・中小企業の職場のリーダー及びリーダー候補

様々な職場のリーダー達との他流試合を通じてリーダーとしての視野を広げるとともに、コミュニケーション力や課題解決力の向上を目指します。

例年の開講期間：7月～12月



SICさがみはら産業創造センターについて

SICさがみはら産業創造センターは、『起業家の創出・育成、新規創業者や中小企業などに対するサポートを通じて、地域経済の活性化を図る』ことを目的に平成11年(1999年)4月に相模原市、独立行政法人中小企業基盤整備機構及び民間企業により設立されたインキュベーションセンターです。

新規創業を目指す個人や新分野への進出に取り組む意欲的な経営者に対し、その目標達成に寄与するために次のようなサービスを提供しています。

■企業が直面する様々な課題をトータル的にサポートします

インキュベーションマネージャー(IM)がSICネットワークと連携し、成長段階に応じたサービスを提供します。

■株式公開を目指す成長意欲の高い企業に投資します

投資先企業の企業価値を高めるためにIMとSICネットワークが連携し、ハンズオン型の集中的なサービスを提供します。

■産学連携や企業間連携をサポートします

企業と大学が連携し新たなビジネスの創出に取り組む場の提供、課題解決に必要な大学や企業との連携をサポートします。

■次世代を担う人材を育成します

企業の幹部候補生に対する事業構想再構築の場の提供、小学生から高校生に対する起業家教育、大学生に対するインターンシップなどを通じて人材の育成を図ります。

■基礎知識の習得やネットワークの機会を提供します

セミナーや交流会などを開催し、経営に必要な知識の習得や異業種・異分野とのネットワーク構築の機会を提供します。

■会社名：株式会社さがみはら産業創造センター

(英語表記：Sagamihara Incubation Center Ltd. (略称：SIC))

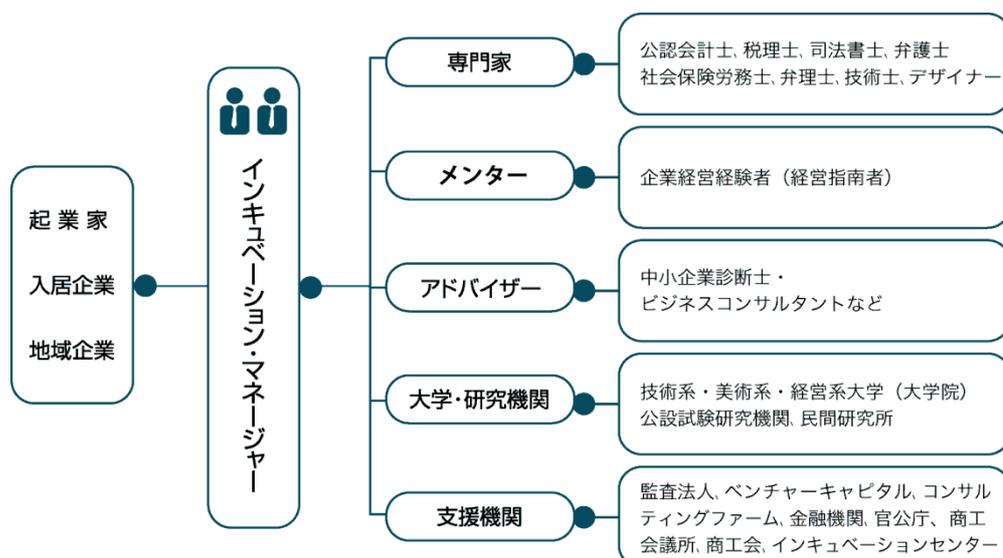
■設立年月日：1999年(平成11年)4月20日

■所在地：〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

TEL：042(770)9119 FAX：042(770)9077

URL：<http://www.sic-sagamihara.jp/>

■資本金：23億9,450万円(発行株式の総数 47,890株)



★インキュベーションマネージャー(IM)とは、

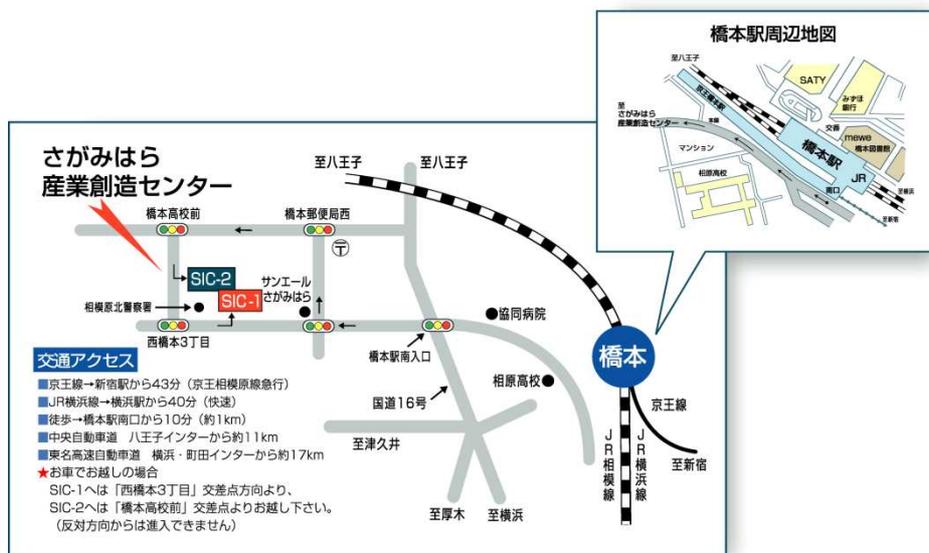
事業の創出・育成(ビジネス・インキュベーション)のため問題を起業家と一緒に考え解決する人であり、悩みや喜びを共有し、良き相談相手となる人です。

★インキュベーションセンターとは、

事業を志す人に、事業開始から成長に向けて種々の支援を行う施設を起業家育成施設(インキュベーションセンター)といいます。



総合的なインキュベーション活動を通じて
地域経済の発展に貢献します。



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21
TEL 042-770-9119 FAX 042-770-9077
<http://www.sic-sagamihara.jp/>